

| | | | |
|--------------|--------------------------|------------|------|
| 授業科目名 | 生徒指導・進路指導論A（初等）(2100237) | | |
| 時間割名 | 生徒指導・進路指導論A（初等）(71105) | | |
| 時間割担当 | 松岡律 | | |
| 実施期 | 後期 | 単位数 | 2 必修 |
| 曜日・時限 | 集中 | | |

授業の目標・概要

児童期における生徒指導及び進路指導の理論と方法を講義する。講義を通して、生徒指導及び進路指導の基本的概念や考え方を形成する。その上で、現代社会と家庭の変化の中で困難に立ち向かいつつ生きる児童の「自分づくり」を援助する方途、及び、今日の進路指導の実際について展開する。事例をもとに、(1) 非行、校内暴力、いじめ、不登校などの問題行動の実際、(2) その基底にある問題の克服過程、(3) 個々の児童が、希望を持って、人生を設計し、進路を切り拓いていくための支援なども検討する。

学習の到達目標

生徒指導の基本的な考え方を身につけることにより、一人ひとりの良さを伸ばし、様々な場面での説得力ある対応ができ、解決していく力がつくことを目標とする。

授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
ペアやグループ学習、取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。

授業計画

- 第1回 「生徒指導とは」 生徒指導とは何か、学校教育の中でどのような位置付けなのか、どのような歴史があるのか、どのような考え方を基本としているのかなどについて考える。
- 第2回 「生徒指導と教育課程」 生徒指導と教育課程に基づいて行われる教科、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連について考える。(小学校教育の観点から)
- 第3回 「生徒理解」 生徒指導を進める上で必要な生徒理解について、その必要性、理解の方法などについて考える。(小学校教育の観点から)
- 第4回 「生徒指導の進め方」 生徒指導を進める上で求められる教職員の義務、果たすべき責任、自己研鑽等について考える。(小学校教育の観点から)
- 第5回 「いじめ」 現在、学校で大きな課題となっている「いじめ」について、そのメカニズムや対応について考えるとともに、「いじめ」を起こさない教育活動について考える。(小学校教育の観点から)
- 第6回 「不登校」 現在、学校で大きな課題となっている「不登校」について、事例に基づいて分析するとともに、指導の在り方について考える。(小学校教育の観点から)
- 第7回 「問題行動への対応」 最近の小学生の非行の実態、特徴とその社会的背景、なぜ非行に走るのかという非行の心理、非行を起こさせない予防的指導について述べる。(小学校教育の観点から)
- 第8回 「生徒指導上の課題」 小学校における生徒指導の課題をまとめ、生徒指導の在り方について考える。
- 第9回 「小中連携」 小中連携とは何か、小中連携の意義、教育課程上の位置付け、小学校進路指導の今日的な課題等について総括的に考える。
- 第10回 「進路指導とキャリア教育 1」 キャリア教育が求められるようになった背景をとらえる。

成績評価の基準

(授業計画の続き)

- 第11回 「進路指導とキャリア教育 2」 キャリア教育が求められるようになった背景をふまえ、キャリア教育のあり方等について考える。
- 第12回 「ニートとフリーター」 現在、大きな社会問題ともなっているニートとフリーターを題材に、今後のキャリア教育の方向を考える。
- 第13回 「進路指導における生徒理解・自己理解」 進路指導を進める上で求められる生徒理解、生徒の自己理解について分析し、指導の在り方を考える。
- 第14回 「生徒指導・進路指導の課題解決に向けて(進路指導を中心に)」 生徒指導・進路指導上の課題を分析し、今後の指導の在り方を考える。
- 第15回 授業の総括として、これまで身に付けたことについて振り返る。

(成績評価の基準)

授業中に行う活動や小レポート評価し、授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する(40%)。
課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する(30%)。
学期末テストにおいては総合的な理解を確認する(30%)。

授業時間外の課題

授業時に、次回以降の学習テーマについて、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

メッセージ

授業時間内に伝える。

教材・教科書

『生徒指導提要』（文部科学省・平成22年3月・教育出版）

参考書

授業中に指示する